

京都「介護に関する研修会」開催

伊藤 忠男 通信員

JAMシニアクラブの活動方針を受け、1月19日（金）午後2時「介護保険の上手な利用とその相談窓口」と題した2時間の研修会を実施した。

講師は、京都市御池地域包括支援センターセンター長秋山博之さん。

高齢化社会に伴って認知症患者数が増加の一途にあること、孤独死や徘徊、虐待、詐欺被害など、高齢者の暮らしを取り巻く状況を自らの仕事と関わった経験を踏まえわかりやすく解説していただくところからスタートした。メインは京都市が発行した「健やか進行中」という高齢者のためのサービスガイドブックを使った「介護保険サービスを利用するまでの流れ」、ここでは「高齢サポート（地域包括支援センター）」への気軽な相談の大切さを。また、新しく始まった、支援を要する高齢者が住み馴れた地域でそのまま暮らし続けられるように地域でサポートしていくことを目的とした「介護予防・日常生活支援総合事業」の解説。介護保険で利用できるサービスや事業所の種類まで丁寧な解説をいただいた。

お話を聞いた後の質問で「ご近所に服装が乱れ、お風呂にも長く入っていないと思わる高齢者がいるが同居の家族には言いにくい。こんな場合どうすれば？」「こんな場合も地域包括サービスセンターに相談すればご近所からの通報とはわからないよう、ご自宅を訪問して様子を見に行く。まず相談を」と教えていただいた。

参加者は、自分の親や配偶者の介護の当事者からまだまだ先の話と思っている元気な会員まで幅広く五〇人弱が集まった。これから避けて通れない現実に直面した時の心構えができたのではないか。

